

**令和6年度「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業
地域日本語教育スタートアッププログラム 報告書**

団体名 石狩市 （都道府県：北海道）

1. 当該地域の情報（令和6年6月現在）

地域の課題	本市在住の外国人は技能実習生を中心に毎年増加しており、出身国も多国籍化が進んでいる。2020年に実施した本市在住の外国人労働者に対するアンケート調査では、「仕事や日常生活で困っていること」についての質問に対し、「文化や習慣が違う」、「言葉が通じない」と答えた方の割合が多く、ある程度、事前に教育を受けてきた技能実習生ではあるが、文化や習慣、言語の違いによるコミュニケーションの問題に悩みを抱えている外国人の方が一定数いるという結果となった。
在住外国人数 外国人比率	【在住外国人数】 835人 【外国人比率】 1.45%
在住外国人の 状況	【主な国籍と人数】 ベトナム 434人、インドネシア 113人、ミャンマー72人、中国 31人、パキスタン 31人、ネパール 31人、フィリピン 28人、韓国 18人、タイ 12人、モンゴル 10人 【在留資格】 技能実習2号 287人、技能実習1号 184人、特定技能1号 154人、永住者 53人、技術・人文知識・国際業務 48人、家族滞在 26人、技能実習3号 17人、日本人配偶者 14人、特定活動 11人、特別永住者 9人 【滞在年数・在留期間などの状況】 多国籍化が進んでいるとともに、技能実習生と特定技能の外国人が全体の7割超を占めている。
在住外国人の 日本語教育の現状	NP0法人石狩国際交流協会主催による日本語教室が、平成10年10月からボランティアによる少人数制で開催していたが、指導者が高齢のため教室継続が困難となり、令和3年3月に教室終了。以降、外国人に対する日本語教育を提供する機会が設けられていないため、令和4年度から本プログラムを活用。

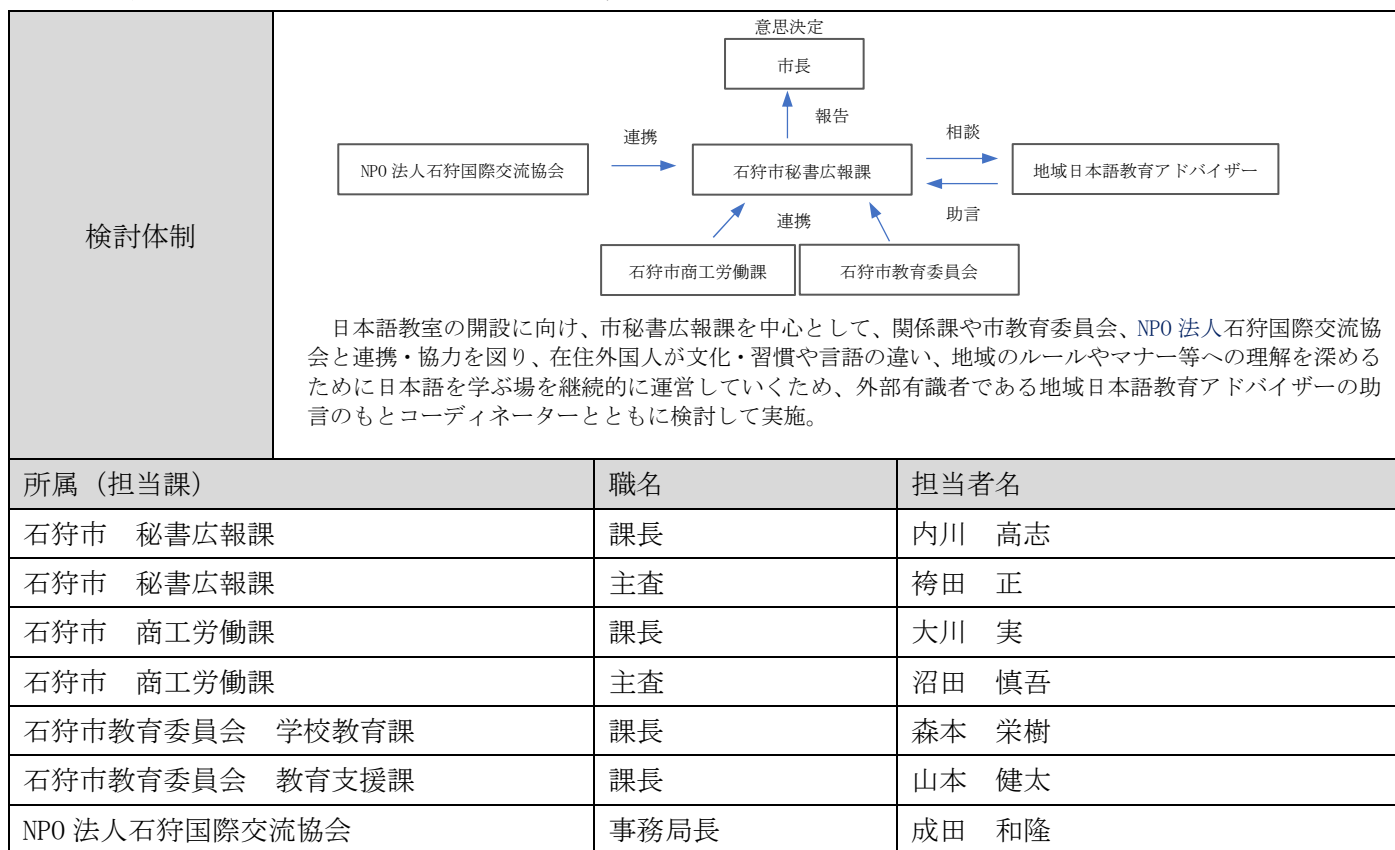
2. 事業の内容

本プログラム 取組年数	3年目
事業の目的	本市在住の外国人は、近年、石狩湾新港地域での雇用を中心に増加傾向にあり、居住エリアも市内全体に広がっている。そのような中、コロナ禍で地域行事等の中止に伴い触れ合える環境が減少し、地域住民とのコミュニケーション不足も懸念されることから、日本で生活する上で、文化や習慣の違い、地域のルール等の理解を深めてもらうために日本語教育を推進し、在住外国人と地域住民の双方にとって住みよいまちを目指すことを目的とする。
事業の概要	2020年に実施した本市在住の外国人労働者に対するアンケート調査では、雇用する側、雇用される側ともに言語の違いからコミュニケーションに問題があるとの回答が多くみられた一方、在住外国人の半数以上が、「地域住民と交流したい」と回答している。在住外国人と地域住民の双方にとって、住みよいまちを目指す上で日本語教育は必要であり、母国と日本との生活習慣の違いやルール、マナーに対する理解を深めるため日本語教室を開設する。なお、事業者並びに参加者等への周知を徹底し、感染拡大防止を心掛け、事業の運営に努める。
事業の対象期間	令和6年4月～令和7年3月
前年度の実績 (2年目以降の 団体のみ記載)	・アドバイザー会議の開催 5回開催 ・日本語サポーターの養成 養成講座（全3回実施） 修了者 31人 ・日本語サポーターの育成 ブラッシュアップ講座（全3回実施） 受講者 9人 ・日本語教室の開催 6月22日～11月9日の期間で月1、2回（全10回実施） 参加状況 学習者延べ147人 サポーター延べ154人 教室前半は学習者が生活する上で必要な情報をテーマに、会話をすることで日本語を学びながら文化や習慣の違い、地域ルール等の理解を深めてもらい、加えて後半は日本の遊びやゲームを行うことで日本人との交流機会の創出が図られた。また、日本語教室に参加したことがきっかけで関係人口が築かれ、学習者・サポーターともにNP0法人石狩国際交流協会行事やJICAセミナーに参加する等多文化共生の意識醸成につながっており、在住外国人と地域住民の双方にとって住みよいまちづくりの形成が図られた。

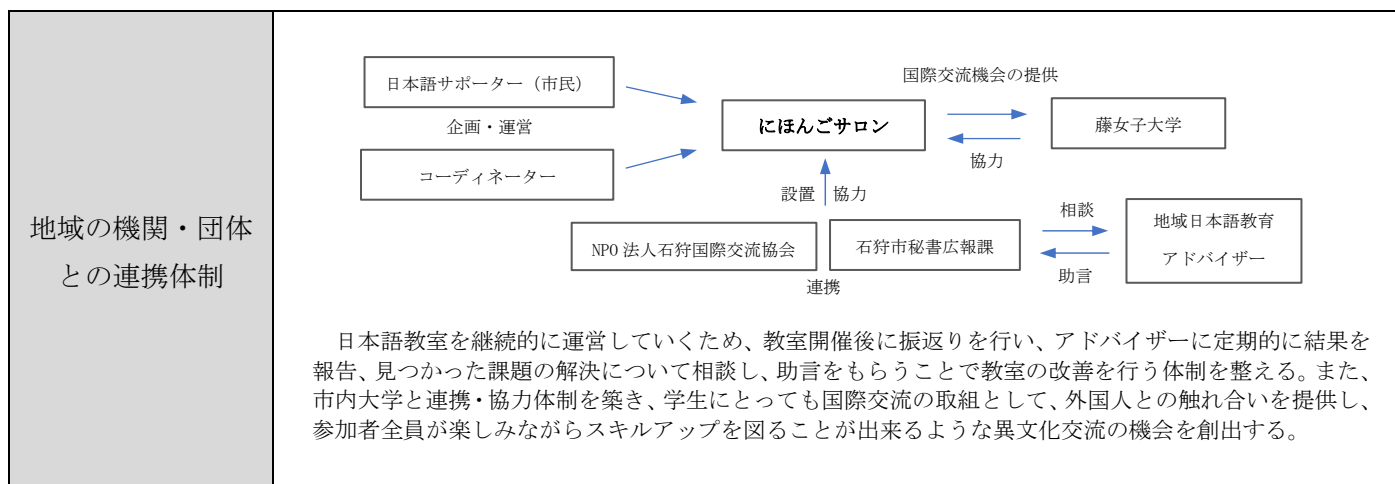
	氏名	所属	職名	担当する役割
担当コーディネーター	竹内 真貴	NPO 法人石狩国際交流協会	事務局員	教室の企画・運営・連絡調整等
	金 娜	NPO 法人石狩国際交流協会	事務局員	教室の企画・運営・連絡調整等
	袴田 正	石狩市秘書広報課	主査	教室の企画・運営・事業統括等
担当アドバイザー	氏名	所属	職名	継続・新規の別
	神吉 宇一	武蔵野大学グローバル学部	教授	継続（3年目）
	阿部 仁美	一般社団法人北海道日本語センター	理事	継続（3年目）
	池田 誠	一般財団法人北海道国際交流センター	専務理事／事務局長	継続（3年目）

3. 日本語教室の設置に向けた検討体制

（1）地域における日本語教育の実施に向けた検討体制



（2）日本語教室の実施に向けた事業運営体制図



組織・団体・機関名	担当部局	職名	担当者名
石狩市	秘書広報課	課長	内川 高志
石狩市	秘書広報課	主査	袴田 正
NPO 法人石狩国際交流協会		事務局長	成田 和隆
NPO 法人石狩国際交流協会		事務局員	竹内 真貴
NPO 法人石狩国際交流協会		事務局員	金 娜
藤女子大学	人間生活学部	教授	高橋 真由美

4. 具体的な取組内容

(1) 年間を通じた取組内容

年月	主な取組内容	コーディネーターの 主な活動	アドバイザーによる 助言・指導
令和6年 4月			
令和6年 5月	① 日本語サポーター養成講座 ② サポーター打合せ会議 ③ 日本語教室 ④ アドバイザー会議①	サポーター養成講座の運営 教室の前期企画・運営 事業計画の打合せ	神吉宇一氏1回（遠隔） 阿部仁美氏1回（遠隔） 池田 誠氏1回（遠隔） ・R6活動計画に関する助言
令和6年 6月	① 日本語教室	教室の運営	
令和6年 7月	① 日本語教室 ② サポーター情報交換会	教室・情報交換会の運営	
令和6年 8月	① 日本語教室 ② サポーター打合せ会議 ③ アドバイザー会議② ④ アドバイザー会議（ADのみ）	教室の後期企画・運営 進捗管理・課題整理	神吉宇一氏1回 阿部仁美氏1回 池田 誠氏1回 ・進捗状況・課題に対する助言
令和6年 9月	① 日本語教室	教室の運営	
令和6年 10月	① 日本語教室 ② サポーター情報交換会	教室・情報交換会の運営	
令和6年 11月	① 日本語教室	教室運営	
令和6年 12月	① アドバイザー会議③ ② 実施団体・コーディネーター情報交換会	進捗管理・課題整理 コーディネーター情報交換会での発表	神吉宇一氏1回（遠隔） 阿部仁美氏1回（遠隔） 池田 誠氏1回（遠隔） ・進捗状況・課題に対する助言
令和7年 1月	① アドバイザー会議④	進捗管理・課題整理 ブラッシュアップ講座準備	神吉宇一氏1回（遠隔） 阿部仁美氏1回（遠隔） 池田 誠氏1回（遠隔） ・進捗状況に対する助言
令和7年 2月	① 日本語サポーター ブラッシュアップ講座 ② アドバイザー会議⑤ ③ アドバイザー会議（ADのみ）	ブラッシュアップ講座の運営 最終報告書の作成・確認	神吉宇一氏1回 阿部仁美氏1回 池田 誠氏1回 ・最終報告書の確認、総括
令和7年 3月			

(2) 立ち上げた日本語教室の詳細

教室の名称		いしかりにほんごサロンはーとふる					
外国人参加者について		【国籍】 インドネシア 12 人、カナダ 5 人、中国 4 人、ミャンマー3 人、ベトナム 2 人、アイスランド・タイ・パキスタン・バングラデシュ 各 1 人 【属性】 技能実習生や日本人の配偶者等					
参加者数 (内 外国人数)		学習者 延べ 97 人 (97 人) サポーター 延べ 237 人 (0 人)					
開催時間数		総時間 24 時間		内訳 2 時間 × 12 回			
開催頻度		1～2 回/月					
目標		市内に住む外国人が安心して豊かな生活を送ることができるよう、日本語や日本文化を学ぶ機会を提供するとともに、外国人と市民の交流の場として相互理解を深め、多文化共生の推進に資することを目標とする。					
実施内容							
回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	内容	授業概要	支援者数
1	2024 年 5 月 23 日 (木) 18：30～20：30	2	石狩市 花川北コミュ ニティセンター	13	【テーマ】 私の好きな (苦手な) ○○ 【ゲーム】 じゃんけん	テーマをもとに会話を通して日本語を学び、ゲームで交流する。	サポーター 28 人
2	2024 年 6 月 13 日 (木) 18：30～20：30	2	石狩市 花川北コミュ ニティセンター	8	【テーマ】 ゴミの出し方 【ゲーム】 かるた	テーマをもとに会話を通して日本語を学び、ゲームで交流する。	サポーター 26 人
3	2024 年 6 月 27 日 (木) 18：30～20：30	2	石狩市 花川北コミュ ニティセンター	6	【テーマ】 行きたい場所 【ゲーム】 伝言ゲーム	テーマをもとに会話を通して日本語を学び、ゲームで交流する。	サポーター 16 人
4	2024 年 7 月 11 日 (木) 18：30～20：30	2	石狩市 花川北コミュ ニティセンター	9	【テーマ】 郵便 (送り状) 【ゲーム】 日本の昔遊び	テーマをもとに会話を通して日本語を学び、ゲームで交流する。	サポーター 21 人
5	2024 年 7 月 25 日 (木) 18：30～20：30	2	石狩市 花川北コミュ ニティセンター	13	【テーマ】 病院 (問診票) 【ゲーム】 アナグラム	テーマをもとに会話を通して日本語を学び、ゲームで交流する。	サポーター 20 人
6	2024 年 8 月 8 日 (木) 18：30～20：30	2	石狩市 花川北コミュ ニティセンター	4	【テーマ】 自国の料理	テーマをもとに会話を通して日本語を学ぶ。	サポーター 19 人
7	2024 年 9 月 12 日 (木) 18：30～20：30	2	石狩市 花川北コミュ ニティセンター	9	【テーマ】 日本でやってみ たいこと 【ゲーム】 お絵かきクイズ	テーマをもとに会話を通して日本語を学び、ゲームで交流する。	サポーター 19 人
8	2024 年 9 月 26 日 (木) 18：30～20：30	2	石狩市 花川北コミュ ニティセンター	5	【テーマ】 防災 (備え) 【ゲーム】 しりとり	テーマをもとに会話を通して日本語を学び、ゲームで交流する。	サポーター 16 人
9	2024 年 10 月 10 日 (木) 18：30～20：30	2	石狩市 花川北コミュ ニティセンター	14	【テーマ】 祝日・年中行事 【ゲーム】 インドネシアの 遊び	テーマをもとに会話を通して日本語を学び、ゲームで交流する。	サポーター 19 人
10	2024 年 10 月 24 日 (木) 18：30～20：30	2	石狩市 花川北コミュ ニティセンター	6	【テーマ】 生活マップ 【ゲーム】 歌	テーマをもとに会話を通して日本語を学び、ゲームで交流する。	サポーター 18 人
11	2024 年 11 月 14 日 (木) 18：30～20：30	2	石狩市 花川北コミュ ニティセンター	5	【テーマ】 冬の暮らし 【ゲーム】 インドネシアの じゃんけん	テーマをもとに会話を通して日本語を学び、ゲームで交流する。	サポーター 17 人
12	2024 年 11 月 28 日 (木) 18：30～20：30	2	石狩市 花川北コミュ ニティセンター	5	【テーマ】 自国のおすすめ (観光・スポーツ等)	テーマをもとに会話を通して日本語を学ぶ。	サポーター 18 人

【主な活動】



「ゴミの出し方」をテーマに、会話をしている様子(第2回)



「自国の料理」をテーマに、絵を描いて紹介(第6回)



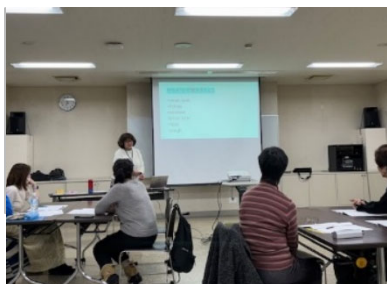
インドネシアの学習者から教わって、じゃんけん大会(第11回)

教室の立ち上げに係る問題とその対応策	【問 題】 学習者の参加人数が少ない。(1回あたり平均8人) 【対応策】 新たに出張教室や交流イベントの実施や、技能実習生を雇用する企業への周知に努め、学習者が増えるような取組を図る。
---------------------------	--

(3) その他関連する取組

取組名称	実施期間	内容												
日本語サポーター養成講座	令和6年5月(全3回)	日本語教室の開催にあたり、日本語を教えるサポーターを募集し、日本語教育の基礎的な知識や日本語学習のサポートの仕方について学ぶことが出来る講座を実施し、サポーターを養成した。 対象者：18歳以上の市民 日 時：令和6年5月9日、16日、30日 18:30～20:30 修了者：24人												
サポーター打合せ会議並びに情報交換会	令和6年5月～10月(各2回)	日本語教室の開催にあたり、サポーターと教室内容を決定する打合せ会議と教室を円滑に進めるための情報交換会を行い、サポーターが教室の企画に携わるとともに、教室での困りごとや改善点等を共有し、サポーター同士のコミュニケーションが図られた。 【打合せ会議】令和6年5月9日、8月22日 【情報交換会】令和6年7月4日、10月17日												
日本語サポーターブラッシュアップ講座	令和7年2月(全3回)	養成した日本語サポーターの今年度の活動をふまえ、より実践的な日本語教育の知識等を学ぶことが出来る講座を実施し、サポーターを育成した。 対象者：日本語サポーター 日 時：令和7年2月13日、20日、27日 18:30～20:30 受講者：14人												
在住外国人に対する日本体験事業	令和6年7月～11月(全3回)	日本語でのコミュニケーションの難しさや、日常生活での課題を抱える外国人のために、石狩や日本文化等に触れられる体験プログラムを実施し、事業を楽しんでもらうとともに、悩みや困りごとを相談できる環境を図った。 (市拠出金事業 NPO 法人石狩国際交流協会主催) 【内容】 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th></th><th>外国人の数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td><td>7月7日 さくらんぼ狩り</td><td>参加者 20人</td></tr> <tr> <td>②</td><td>8月10日 石狩散策&盆踊り</td><td>参加者 12人</td></tr> <tr> <td>③</td><td>11月16日 羽子板づくり</td><td>参加者 7人</td></tr> </tbody> </table>			外国人の数	①	7月7日 さくらんぼ狩り	参加者 20人	②	8月10日 石狩散策&盆踊り	参加者 12人	③	11月16日 羽子板づくり	参加者 7人
		外国人の数												
①	7月7日 さくらんぼ狩り	参加者 20人												
②	8月10日 石狩散策&盆踊り	参加者 12人												
③	11月16日 羽子板づくり	参加者 7人												

【主な活動】



ブラッシュアップ講座の様子



石狩市民から提供された浴衣を着て歴史公園を散策し、盆踊りを体験した



正月飾りである羽子板を自らの手で作成している様子

5. 今年度事業全体について

事業推進にあたり 問題点と対応策	学習者の参加状況にばらつきがあり、参加が少ない日があった 今後は、開催方法の改善（出張教室や交流イベント等手法を変えた取組）や、在住外国人への更なる周知を行い、参加者の増加につながる取組を図る。
成果	（１）域内の日本語教育の提供状況 ①日本語教室の立ち上げ （ ） 立ち上げが終わっていない （ ） 立ち上げが終わった （○）運営の安定化が実現した ②日本語教室の特徴 外国人が日本で生活する上で必要な日本の文化や習慣・ルール等をテーマ設定し、日本語サポーターとの会話を通して日本語を学び、ゲームを行う対話交流型教室（サロン） （２）その他の取組の状況 日本語サポーターの募集・育成を行い、外国人支援に協力的な支援者が確保できた。 日本語教室の実施により、回を重ねるごとにサポーターの成長が感じられ、今後の継続的な実施に向けてノウハウの蓄積ができた。
地域の関係者との 連携による効果	日本語サポーターとして、外国人支援に協力的な地域住民を発掘、養成することで、日本語教室以外の国際交流事業に参加する等、多文化共生の推進が図られた。 藤女子大学には教室の運営に協力してもらうとともに、学生に国際交流機会の提供を計画していたが、大学側の体制が整わず実施できなかった。今後は連携できるよう大学側との調整を図りたい。
コーディネーターの 主な活動	①体制整備のための調整(20H) ②人材育成のための調整(20H) ③日本語教室開設及び運営のための調整(36H) ④その他(36H)（具体的な内容：日本語教室の実施）
アドバイザーの 主な助言	・学習者の参加が定着して、教室以外の様々な活動に参加している。市として、日本語がある程度できる人とのつながりや、日本語を話せない人・日本語能力をつけたい人への対応をどうしていくか、今後、考えなければならない。 ・教室に警察や消防の方が来て話をしてもらうと「生活に役立つことが学べる」と、企業（監理団体）に周知すると説得力があり参加協力してもらえる。 ・教室での交流を通して知り合いとなり、人がつながっていくという観点で役割が果たせるようになり、成果が見えてきているというのは地域の日本語教室としてのあり方として良いと感じる。
今後の課題	・安定した参加者数を確保するための日本語教室の周知や情報発信の工夫。 ・サポーターと共に持続可能な日本語教室の運営体制づくり。 ・在住外国人の増加に対応し、行政として外国人が住みよい生活が送れるような環境整備の検討。

今後の予定	(1) 今後の日本語教育事業の展開について ① 日本語教室の展開 開設された日本語教室の継続開催に努め、今後、市内全体に広げていけるような実施体制づくりを図る。 ② 日本語教室の実施主体と行政の関与について NPO 法人石狩国際交流協会が主体となり、日本語サポーターと共に実施運営。行政は運営支援を行い、地域日本語教育並びに多文化共生の推進を図る。 ③ 財源の確保について 市の単独費以外に北海道が文部科学省「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」を活用し創設する市町村間接補助金に申請。 (2) 今後の予定（取組等） ・3年間の経験を生かして、継続して日本語教室を開催する。 ・開催に係るチラシやカードの作成・配布、企業への連絡、HP等での周知を図り、学習者の増加につながるように努める。 ・日本語サポーターに、教室での役割を与え、定期的に情報交換を行い、企画内容の共有を図り、モチベーションを保つような育成に努める。 ・日本語教室から多文化共生への理解を市内に広め、推進に努めていきたいと考えている。
--------------	---

本件担当： 石狩市秘書広報課秘書広報国際交流担当